

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年3月18日(2021.3.18)

【公表番号】特表2020-506201(P2020-506201A)

【公表日】令和2年2月27日(2020.2.27)

【年通号数】公開・登録公報2020-008

【出願番号】特願2019-542542(P2019-542542)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/351	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2017.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/351	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/04	1 7 1
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 K	9/06	
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 K	9/107	

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月5日(2021.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒト又は動物対象における細菌感染症を処置又は予防するための方法において使用するための抗細菌組成物であって、当該組成物は、銅マルトール若しくは銅エチルマルトール含む銅ヒドロキシピロン錯体、及び少なくとも20%w/wのポリアルキレングリコール、を含み、ここにおいて、前記銅ヒドロキシピロン錯体及びポリアルキレングリコールは、酸化還元的分解から銅錯体を保護する会合体を形成する、前記抗細菌組成物。

【請求項2】

該ポリアルキレングリコールが、ポリエチレングリコール(PEG)又はポリプロピレングリコール(PPG)である、請求項1に記載の抗細菌組成物。

【請求項3】

該組成物が、少なくとも30%(w/w)のポリアルキレングリコール、あるいは、少なくとも50%(w/w)のポリアルキレングリコールを含む、請求項1または請求項2に記載の抗細菌組成物。

【請求項4】

(a) 該ポリアルキレングリコールが、1種類以上のポリエチレングリコール類(PEG)および/または1種類以上のポリプロピレングリコール類である; あるいは、

(b) 該ポリアルキレングリコールが、1種類以上のポリエチレングリコール類と1種類以上のポリプロピレングリコール類との組み合わせ、を含む、

請求項 1 - 3 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 5】

ポリエチレングリコールが、PEG 400 又は PEG 3350 である、請求項 4 に記載の抗細菌組成物。

【請求項 6】

該組成物が、軟膏またはクリームである、請求項 1 - 5 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 7】

銅対マルトールの比率が、1 : 0 . 5 ~ 1 : 1 0 または 1 : 1 ~ 1 : 5 または 1 : 1 ~ 1 : 4 である、請求項 1 - 6 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 8】

該組成物が、シリケート組成物である、請求項 1 - 7 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 9】

該シリケート組成物が、ナノシリケートである、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

該組成物がヒトの対象の処置における使用のためのものである、請求項 1 - 9 のいずれか 1 項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

【請求項 11】

該組成物が獣医学的使用のためのものである、請求項 1 - 9 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 12】

該組成物がイヌ、ネコまたはウマの処置における使用のためのものである、請求項 1 - 11 に記載の抗細菌組成物。

【請求項 13】

該細菌感染症がグラム陰性またはグラム陽性細菌により引き起こされる、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 14】

該細菌感染症がMRSA 感染症である、請求項 13 に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

【請求項 15】

創傷の細菌感染症を処置又は予防するための方法において使用するための、請求項 1 - 14 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 16】

該細菌感染症が、エスケリキア属の種、スタフィロコッカス属の種、バシラス属の種、シユードモナス属の種、ビブリオ属の種、ストレプトコッカス属の種、クレブシエラ属の種、マイクロコッカス属の種、クロストリジウム属の種、アシнетバクター属の種、マイコバクテリウム属の種、サルモネラ属の種又はクラミジア属の種、により引き起こされる、請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 17】

該細菌感染症が、大腸菌、S. エピデルミス、S. アウレウス、メチシリン耐性スタフィロコッカス・アウレウス（“MRSA”）、B. サブチリス、P. エルジノーサ、V. フィシェリ、S. ピオゲネス、S. ニューモニエ、M. ルテウス、C. ディフィシル、A. バウマニ又はM. ツベルクローシスにより引き起こされる、請求項 16 に記載の抗細菌組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0080

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0080】

本明細書において言及された全ての文献は、参照によりそのまま本明細書に援用される。

非限定的に、本発明は以下の態様を含む。

[態様1] ポリアルキレングリコールおよび銅ヒドロキシピロン錯体を含む抗細菌組成物。

[態様2] 態様1に記載の抗細菌組成物であって、該銅ヒドロキシピロン化合物が、マルトールおよび/またはエチルマルトールを含む抗細菌組成物。

[態様3] 該組成物が、少なくとも10% (w/w) のポリアルキレングリコール、場合により少なくとも30% (w/w) のポリアルキレングリコール、場合により少なくとも50% (w/w) のポリアルキレングリコールを含む、態様1または態様2に記載の抗細菌組成物。

[態様4] 該PEG軟膏が、銅マルトールを含む、先行する態様のいずれか1項に記載の抗細菌組成物。

[態様5] 該銅マルトール-PEG会合体が、銅マルトールを酸化還元的分解から保護する、先行する態様のいずれか1項に記載の抗細菌組成物。

[態様6] 該ポリアルキレングリコールが、1種類以上のポリエチレングリコール類(PEG)および/または1種類以上のポリプロピレングリコール類である、先行する態様のいずれか1項に記載の抗細菌組成物。

[態様7] 該ポリアルキレングリコールが、1種類以上のポリエチレングリコール類と1種類以上のポリプロピレングリコール類との組み合わせ、例えばPEG400、PEG3350とポリプロピレングリコールとの組み合わせ、を含む、態様6に記載の抗細菌組成物。

[態様8] 該組成物が、軟膏またはクリームである、先行する態様のいずれか1項に記載の抗細菌組成物。

[態様9] 銅対マルトールの比率が、1:0.5~1:10または1:1~1:5または1:1~1:4である、先行する態様のいずれか1項に記載の抗細菌組成物。

[態様10] 該組成物が、シリケート組成物である、先行する態様のいずれか1項に記載の抗細菌組成物。

[態様11] 該シリケート組成物が、ナノシリケートである、態様10に記載の組成物。

[態様12] 微生物感染症を処置する方法における使用のための、先行する態様のいずれか1項に記載の抗細菌組成物。

[態様13] 該組成物がヒトの対象の処置における使用のためのものである、態様12に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

[態様14] 該組成物が非ヒト哺乳類の処置における使用のためのものである、態様12に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

[態様15] 該抗細菌組成物が局所投与される、態様12~14のいずれか1項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

[態様16] 該組成物が獣医学的使用のためのものである、態様14に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

[態様17] 該組成物がイヌ、ネコまたはウマの処置における使用のためのものである、態様14~16のいずれか1項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

[態様18] 該組成物が細菌感染症の処置のためのものである、態様12~17のいずれか1項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

[態様19] 該細菌感染症がグラム陰性またはグラム陽性細菌により引き起こされる、態様13~18のいずれか1項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

[態様20] 該細菌感染症がMRSA感染症の処置である、態様18または19に記

載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

[態様 2 1] 創傷の処置のための方法における使用のための、態様 1 2 ~ 2 0 のいずれか 1 項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

[態様 2 2] 該細菌感染症が、エスケリキア属の種、例えば大腸菌、スタフィロコッカス属の種、例えば S . エピデルミス、S . アウレウスおよびメチシリン耐性スタフィロコッカス・アウレウス（“ M R S A ”）、バシラス属の種、例えば B . サブチリス、シードモナス属の種、例えば P . エルジノーサ、ビブリオ属の種、例えば V . フィシェリ、ストレプトコッカス属の種、例えば S . ピオゲネスおよび S . ニューモニエ、クレブシエラ属の種、マイクロコッカス属の種、例えば M . ルテウス、クロストリジウム属の種、例えば C . ディフィシル、アシネットバクター属の種、例えば A . バウマニ、マイコバクテリウム属の種、例えば M . ツベルクローシスもしくはサルモネラ属の種、クラミジア属の種、または真菌種、例えばカンジダ属の種、例えば C . アルビカンスにより引き起こされる、態様 1 8 ~ 2 1 のいずれか 1 項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

[態様 2 3] 態様 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物、および薬学的に許容可能なキャリヤーを含む、医薬組成物。

[態様 2 4] 該組成物が、局所送達のために配合される、態様 2 3 に記載の医薬組成物。

[態様 2 5] 微生物感染の処置または予防のための医薬品の調製のための、態様 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物の使用。

[態様 2 6] 微生物感染症を処置または予防する方法であって、該方法が、処置を必要とする患者に療法上有効量の態様 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物を投与することを含む、前記方法。

[態様 2 7] 該組成物が、局所投与のために、より好ましくは対象の皮膚への適用のために配合されている、態様 1 2 ~ 2 2 、 2 5 または 2 6 のいずれか 1 項に記載の。処置の方法における使用のための組成物、使用または方法。